

受難週 棕 梲 の 主 日 礼 拝
 説 教 『 ろ ば の 子 に 乗 っ て 』
 吉 丸 初 美 師
 司 会 吉 丸 初 美 さん
 奏 楽 自 動 演 奏 機
 招 詞 ピリピ人手紙 2章6～11節
 主 の 祈 (5 6 4)
 讃 詠 5 4 6
 交 読 詩 編 詩 5 5 編 1～12 節
 祈 禱
 讃 美 歌 21 - 3 0 9 (① ② ③)
 使 徒 信 条 (5 6 6)
 聖 書 ヨハネ福音書 12章12～19節
 説 教 (口語訳160頁、新共同訳192頁)

『 ろ ば の 子 に 乗 っ て 』
 祈 禱
 讃 美 歌 21 - 2 9 8
 献 金
 感 謝 告 白
 報 栄 5 4 1
 頌 禱
 祝 奏
 後 奏

次週の礼拝(復活祭・イースター主日礼拝)
 説 教 『 恐 れ る 婦 人 』
 マルコ福音書 16章1～8節
 招 詞 Iコリント人 15章3～5節/交読詩篇23編
 讃 美 歌 546、21-317、21-323、542

礼 拝 当 番
 今週 29日 司会 吉丸初美さん
 次週 5日 司式 山根真三さん
 会 堂 清 掃 奉 仕 4月5日(日)
 コーヒータイム茶話会 後

本 日 の 集 会

★教会学校 午前9時45分
 ★出会いのひととき 礼拝後～
 それぞれの思いを語り合しましょう。

今週の集会/スケジュール

★聖書を読む会 3月31日(火)10時30分～12時
 創世記12章を読んでいます。
 ★洗足木曜日4月2日(木)この日は弟子たちと共に
 最後の晩餐をし途中弟子たちの足を洗った日です。
 覚えてお祈り下さい。
 ★聖金曜日・受難日祈禱会 4月3日(金)15時～
 この日は主イエスがゴルゴダの丘で十字架に架かけ
 られた日です。讃美歌を歌い、聖書に出会い心合わ
 せて共に祈る時を持ちましょう。†

次週以降のスケジュール等

★イースター祝会 4月5日(日)礼拝後にコーヒータイ
 ム茶話会を行います。イースターエッグは卵が苦手
 な方のイースターエッグも用意しております。
 差し入れできる方はよろしくお願ひいたします。
 ★4月定例会教会役員会 4月5日(日)イースター祝会後
 教務・教勢報告、会計報告、教会総会に向けて協議
 します。役員の仕事と健康を覚えお祈りください。

◎ 公 告 ◎

★2026年度広島西部教会定期教会総会
 日時:4月19日(日) 13時～15時
 議題:教務・教勢報告、決算・予算、役員等選挙
 キリストの体である教会活動を共に考えましょう。
 ★西中国教区定期総会 5月19日(火)13時30分～
 5月20日(水)16時 会場:カリエンテ山口
 ◎ 市川真美恵さん お母様の看病で山口の病院を
 往訪されています。覚えてお祈りください。

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	1	7	8
レコードコンサート	5	6	11

◇今週の説教要旨(受難週・棕梲の主日礼拝)
 『ろばの子に乗って』ヨハネ福音書 12章12～19節
 イエス・キリストの十字架の死を記念する受難週が始まり
 ました。イエスさまはラザロを墓から甦らせるというしるしを
 行われ、それを見た人々また聞いた人々は挙って彼こそ
 待ちに待った王であると信じます。そしてイエスさまがエル
 サレムに入城される時、棕梲の枝を持ち振って「ホサナ」
 「イスラエルの王」と叫び続けました。彼らはメシアを政治
 的解放者、しるしを行う英雄、民族的王と理解していまし
 た。つまり、人間の願望に基づくメシア像だったのです。
 そこでイエスさまは戦いの馬ではなく、ろばの子に乗り入城
 されました。これはザカリア書9章9節に基づく象徴でした。
 ここには強いメッセージがあります。それは人々が期待し
 た王ではなく神が与えられる王の姿でした。力ではなく謙
 遜、支配ではなく平和、暴力ではなく自己犠牲。しかし群
 衆だけではなく弟子たちさえも出来事の最中には理解でき
 ず十字架と復活の後になって初めて理解できました。群衆
 は間違っていました。しかし完全に否定されたわけではあり
 ません。平和をもとめることは正しいことですが、理解が浅
 かったのです。これは私たちにも当てはまるかも知れませ
 ん。その不十分な信仰はイエスさまの本質を見ていなかった
 のです。真の信仰とは何でしょうか。それは「イエスさまの
 十字架」を理解することでした。救いは信仰によります。
 自分たちの期待外れだと気付いた彼らは、この五日後に
 熱狂的歓喜から殺意へと変わったのです。一方パリサイ人
 たちの皮肉は注目するところです。これは表面的には敵
 対者の嘆きですが、実際にはイエスさまがこの世の救い主
 であることを無意識に表現しているからです。今の時世私
 たちはも平和を求めます。戦争の終結。社会の安定。経
 済的安心。けれど同時にこう思いませんか。問題を取り除
 けば平和になると。強さを守れば平和になると。これは誰
 かに似ていませんか。私たちはイエスさまをどう理解してい
 るでしょうか。また、私たちも時に一時の感情で目に見える
 成果に惑わされ本質的なことを見失いがちになる者です。
 今、私たちはあの時の群衆になってはいないでしょうか。